

県指定文化財

3 木造 せい 正（聖） かんのんぼさつぎぞう 観音菩薩坐像



寄木造り彫眼着彩の小像です。近世の盛上式着彩で当初のおもかげを失っていますが、まとまった形像に表現され、衣褶も形式的な装飾におちいらず穏やかな形容を示しています。

膝裏に「文和2年卯月18日癸巳年幸城」（1353年）という墨書銘があります。光背は62cm余りの宝珠形桧の一枚板で着彩は優美です。

台座は、七重蓮華坐八角形で、その框座に「貞和3年亥12月23日勸進聖浄空」「両和常楽寺貞和3年12月23日円実房聖浄空」（1347年）の墨書銘があります。